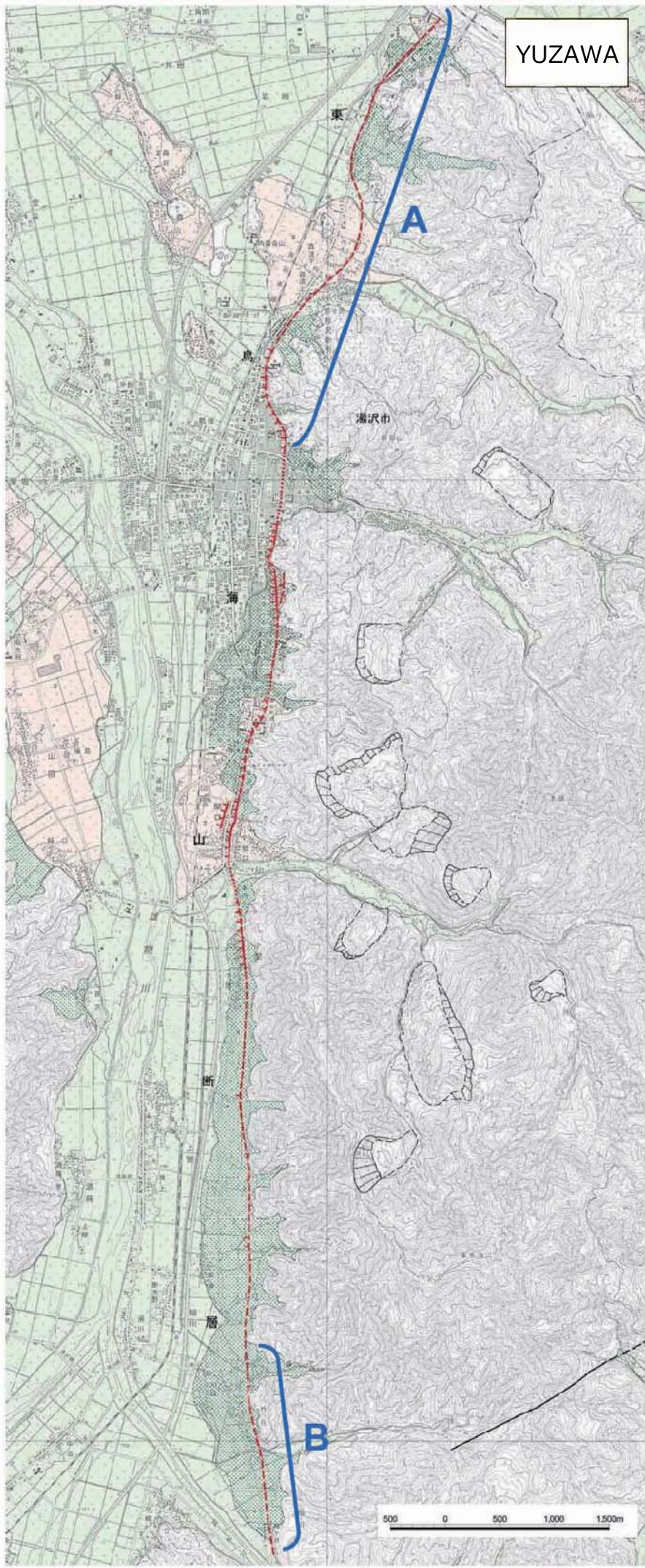


YUZAWA

Active Fault Map in Urban Area
Part of "YUZAWA"



記号 Legend

活断層 Active Fault		最近数千年間に、概ね千年から数万年の間隔で繰り返し動いた地形に認められ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。早期な地形的証拠から位置が特定できるもの。
活断層(位置や年代不明)		活断層のうち、活断層の痕跡が人工的な施設等によって改変されているために、その位置が明確には特定できないもの。
活断層(活断層)		活断層のうち、位置が概らさい地面内で確認し、位置には誤差ではなくとも示して見られたもの。たわみの前後及び傾斜方向を示す。
活断層(残存部)		活断層のうち、最新の地質調査結果の範囲で覆われ、位置を示す地形的証拠がほとんどない部分。
傾ずれ Dip Slip		活断層の傾斜方向と水平方向の変位の向きを矢印で示す。
陥ずれ Dip Slip		活断層の上下方向の陥没の向き。相対的に陥下している側に矢印を付す。
光輝断層 Earthquake Fault		地震発生の際に露出したことが明らかになって活断層。この面においては、明治時代以降の地震で観察されたものに限られる。
トレンチ調査地点 Trench Survey Site		活断層の調査地点に調査溝(トレンチ)を掘り、断層運動の直接調査を行った地点。(これまでに各種調査や試掘等によって調査が実施されたもの)
活断層露頭 Active Fault Exposure		最近数千年間に堆積した断層層などを切断し、活断層であることを明確に判別した露頭。現在は露頭がなくなっている。
活断層の名称 Name of Active Fault	野島断層(河)	活断層の固有名称。
推定活断層(地表) Presumed Active Fault (Surface Indication)		地形的特徴がよいため、活断層の存在が推定されるが、現時点では、位置が特定できないもの。
推定活断層(地表) (位置不明)		推定活断層のうち、位置が不明なもの。
推定活断層(地下) Presumed Active Fault (by prospecting data)		新しい地質調査によって、断層層が地表で確認されていないが、既述のボーリングや地質調査によりその存在が認められた活断層。
活断層 Active Fault		現在も動いている活断層に由来する地形。活断層の活動による地形。活断層の活動による地形。
活断層の傾斜方向 Living Surface Direction		地形が、現在も動いている活断層活動によって傾いている場所。最大傾斜方向を示す。
上位段丘 Higher Terrace		1 上位段丘のうち、相対的に古い時代に形成したと判断されるもの。 2 上位段丘のうち、比較的新しい時代に形成したと判断されるもの。
中位段丘 Middle Terrace		1 中位段丘のうち、比較的新しい時代に形成したと判断されるもの。 2 中位段丘のうち、比較的新しい時代に形成したと判断されるもの。
下位段丘 Lower Terrace		1 下位段丘のうち、比較的新しい時代に形成したと判断されるもの。 2 下位段丘のうち、比較的新しい時代に形成したと判断されるもの。
沖積低地 Alluvial Lowland		数千年前から現在にかけて、河川や湖沼の作用で形成された平地。
扇状地・沖積扇 Fan - Alluvial Cone		河川によって形成された。谷口を頂点とし平地に向かって扇状に広がる沖積扇。小規模な扇状地も含まれる。
埋立地・干拓地 Filled-up Land / Reclaim Land		強い内陸の低地などで埋立地や干拓地が形成された。主に明治時代以降に形成された埋立地を示す。
岩盤なだらかな地形 Surface of Bedrock		活断層等によって生じた大小さまざまな規模の陥下して埋立した地形のある土地。
地すべり Landslide		斜面を構成する岩石・土壌などの一部が斜面下方に移動している場所。活断層と移動地帯の両方を示す。
変位した谷線 Offset Channel		断層の傾ずれ運動により変位した谷線。

平成24年調査・編集
平成25年11月発行
国土地理院
5色別
許可なく複製を禁ずる
調査番号09-地1 茨城県つくば市北部1丁目
調査 029 (864) 1111 (代表)

Reduced to 40%